

学校でさいしょにこの本を見つけた時、
ても気になつてすぐ読んでみたかゝたけれど、
はずかしくて手に取れませんでした。そのこ
とを家に帰つてお母さんに話すと、「い^があー
っしょに本屋に買いに行こうと、つれて行
てくれました。

この本を読んで一番おどろいたことは、
トイシそうじは科学だ」ということです。ぼ
くのしよ　う来のゆめは、科学者になることで
す。だから、よごれのせいしつによつて、せ

んざいをかえる話のところは、とてもきょう
味深かゝたです。ぼくはこれまで、トイシそ
うじはふくさつておずかしいものだと思つて
いました。でも、よごれの原いんを見分けて
どういふ方ほうで取りのぞけばいいかを正し
くはんだんできたら、トイシそうじもスムー
ズにできることが分かりました。

そこで、せゝかくトイシそうじのコツが分
かつたので、家のトイシをそうじしてみるこ
とにしました。おそうじシートを使つて、べ

んきやゆかをふいたら、ピカピカになって気が
持ちがよかったです。さい後にトイレスタン
プをしたけれど、それには、弱さんせいと書
いてあって、本に書いてある通りだなと思い
ました。

ぼくがそうじをしてから、お父さんがトイ
しを使っ、た後に

「佑市がきれいにしてくれだから、気持ち
よく使えたよ。」

と言ってくれました。それがとてもうれしか
ったので、毎日はお理でも、時どきはトイレ
そうじを手つたおうと思ひました。

本を読み終わってから、ぼくがこの本を学
校で手に取るのがはずかしかったのはなせだ
ろうと考えてみました。たぶん、トイレはう
んちやおしっこをするきたない所だと思っ
てしまっていたからだと思います。でも今は、
トイレに行くのは当たり前前のことで、とても
大切なことだし、トイレがなかったら大へん
だということに気がつきました。

トイレが足の問題は、さいがいが起こった時に、日本でも起きていると本に書いてあったけれど、ニュースでも見たのを思い出しました。食えることをがまんするよりも、トイレをがまんする方がつらいと、ひな人所の人が話していました。想^{かん}そうしても、やっぱりトイレをがまんする方がつらいし、体によくないと思います。い動式トイレや、けいたいトイレがあつたとしても、使う時に落ち着かないだらうと思います。

そうや、て考えていくうちに、きれいで安心して使えるトイレがあるのは、とてもまあせなことだと思えるようになりました。トイレがあるのは当たり前じゃないことをわすれずに、これからトイレをきれいに使^{つか}って、元気にすごしたいです。